2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月26日

上場会社名　株式会社　不二家　　上場取引所　東
コード番号　2211　URL https://www.fujiya-peko.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 河村　宣行
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員　総務人事本部長　(氏名) 佐野　正樹　TEL 03-5978-8100

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	87,659	4.4	△113	―	750	△60.5	56	△93.7
2025年12月期第3四半期	83,968	8.5	1,069	38.1	1,898	16.5	907	35.7

(注)包括利益　2026年12月期第3四半期　568百万円 (△29.7%)　2025年12月期第3四半期　808百万円 (△34.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	2.20	―
2025年12月期第3四半期	35.21	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	102,462	65,440	58.2
2025年12月期	106,366	66,104	57.0

(参考)自己資本　2026年12月期第3四半期　59,648百万円　2025年12月期　60,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	30.00	30.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	2.9	1,600	△43.7	2,200	△39.1	850	△58.2	32.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期3Q	25,784,659 株	2025年12月期	25,784,659 株
② 期末自己株式数	2026年12月期3Q	9,162 株	2025年12月期	9,053 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期3Q	25,775,532 株	2025年12月期3Q	25,775,613 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……9
（継続企業の前提に関する注記） ……9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……9
（セグメント情報等） ……9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～９月30日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかに回復しておりますが、中東情勢や自然災害が経済に及ぼす影響については、引き続き注視する必要があります。食品業界においては、原材料価格の高騰や物流費の上昇に加え、値上げに対する消費者の節約志向の高まりにより、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下にあって当社グループは、お客様により良い商品と最善のサービスの提供を心掛け、売上と利益の確保につとめてまいりました。その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は876億59百万円（対前年同期比104.4%）となりました。しかしながら、当第３四半期連結会計期間（2026年７月１日～９月30日）においては、記録的な長雨・豪雨や熊本における震災及び食料品の値上げを背景とした消費者の買い控え等の影響を受け、売上高は計画を大きく下回りました。利益面では、製品規格及び価格の見直しや効率のよい生産ラインの活用など生産性向上をはかってまいりましたが、原材料コスト等の上昇分や新規設備投資による減価償却費を吸収することができず、営業損失は１億13百万円（前年同期は10億69百万円の営業利益）、経常利益は７億50百万円（対前年同期比39.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56百万円（対前年同期比6.3%）となりました。

なお、第１四半期連結会計期間の期首から、不二家ベトナムCo.,Ltd.を持分法適用関連会社としております。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第３四半期連結累計期間 2026年１月１日から 2026年９月30日まで		前第３四半期連結累計期間 2025年１月１日から 2025年９月30日まで		対前年同期比	増減
		売上高	構成比	売上高	構成比		
		百万円	%	百万円	%	%	百万円
洋菓子事業	洋菓子	16,703	19.1	17,505	20.9	95.4	△802
	レストラン	4,527	5.1	4,698	5.6	96.4	△170
	計	21,230	24.2	22,203	26.5	95.6	△973
製菓事業	菓　子	59,288	67.6	55,988	66.7	105.9	3,300
	飲　料	4,426	5.1	3,058	3.6	144.7	1,367
	計	63,715	72.7	59,046	70.3	107.9	4,668
その他		2,713	3.1	2,717	3.2	99.8	△4
合　　計		87,659	100.0	83,968	100.0	104.4	3,690

注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

＜洋菓子事業＞

当社単体の洋菓子事業においては、本年に入り消費者の節約志向がよりいっそう高まる中、洋菓子チェーン店では来店客数の伸び悩みが大きな課題となっております。そのような中、８月には、焼菓子の商品構成を、長年親しまれてきた味わいや培ってきた技術を活かした内容に見直すとともに、不二家らしさを感じられるパッケージデザインに一新いたしました。９月には、「スイーツ応援」と題し、「マロンモンブラン」と「チョコ生ケーキ」の販売促進を実施するなど、来店頻度の向上をはかりました。「生ドーナツ」では毎月新フレーバーを発売したほか、新商品「生ブッセ」を発売し、メディア向け試食会を開催するなど、話題喚起と商品ラインアップの充実をはかりました。また、４年目を迎えた「裏不二家の日」は、ノベルティの配布や限定商品の発売により、売上が伸長いたしました。さらに、新業態店舗「ペコちゃんmilkyドーナツ」及び「ペコちゃんmilkyタイム」のほか、B-Rサーティワンアイスクリーム㈱とのコラボショップを展開し、新規顧客の獲得につとめました。同時点における不二家洋菓子店の営業店舗数は815店（前年同期差38店減）となっております。

広域流通企業との取り組みについては、コンビニエンスストア向けに生産性の高い製造ラインを活用した商品を積極的に提案するとともに、既存取引先への商品提案及び新規取引先拡大による販路開拓を進めております。なお、海外輸出においては北米における新規商品を販売し、さらなる売上向上につとめました。

しかしながら、台風や長雨等の天候不順や店舗数減等の影響により、単体の洋菓子事業の売上は、前年同期の実績を下回りました。

レストラン事業では、原材料価格等の高騰に対応するため、メニュー改善及び価格の一部見直しを行うとともに、夏休みやシルバーウィークに合わせたキャンペーンを実施いたしました。しかしながら、不採算店舗の閉鎖もあり、売上は前年同期の実績を下回りました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は、212億30百万円（対前年同期比95.6%）となりました。利益面では、工場における生産効率の高いラインの集中稼働や人員配置の見直し、省人化・機械化による生産性の向上により、増益となりました。

＜製菓事業＞

当社単体の菓子事業においては、原材料価格の上昇によるコスト増が課題となっております。そのような中、『カントリーマアム』『ホームパイ』等の主力大袋商品については、食料品の値上げによる買い控えの影響を受け、売上計画を大きく下回りました。一方、『カントリーマアム』では、人気キャラクターとのコラボ商品を複数発売したほか、「カントリーマアム（熟成蜜芋）」など厳選素材を使用した季節限定商品を順次発売し、売上に寄与いたしました。『ホームパイ』では、８月１日の「ホームパイの日」に合わせたSNSキャンペーンや、アウトドア施設等での「ホームサクッと」のサンプリングを実施し、喫食機会の拡大をはかりました。また、発売75周年を迎えた『ミルキー』では、「ペコちゃんmilkyドーナツクッキー」「ペコちゃんmilkyパイ」の発売や、新キャラクター『ペコちゃんポコちゃんとゆかいな仲間たち』をテーマとした売場を展開し、話題の喚起をはかりました。

上記の結果、単体の菓子事業の売上は、前年同期の実績を上回りました。

飲料事業では、富士裾野工場で製造している天然水の販売開始に加え、ネクター飲料では購入者全員を対象とした「ももぺこぷっくりシール」のプレゼント企画を実施し、売上は前年同期の実績を上回りました。

不二家（杭州）食品有限公司においては、チョコレートビスケット商品の売上が復調したものの、中国国内の景気低迷の影響を受け、売上は前年同期の実績を下回りました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は637億15百万円（対前年同期比107.9%）となりました。利益面では、製品規格及び価格の見直しや省人化による生産性向上をはかってまいりましたが、大袋商品の売上低迷もあり、カカオ豆や油脂を中心とした原材料コスト等の上昇分やグミ及び天然水の新規設備投資による減価償却費を吸収することができず、減益となりました。引き続き、原材料費高騰対策として主力商品10品のパッケージの色数削減などコスト吸収策の継続実施や、生産ライン強化による生産性向上により、収益性の改善につとめてまいります。

＜その他＞

キャラクターグッズ販売事業、ライセンス事業、不動産賃貸事業及び㈱不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は27億13百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

流動資産は376億７百万円で、主に売掛金の減により前連結会計年度末に比べ53億12百万円減少いたしました。固定資産は648億55百万円で、主に有形固定資産や投資その他の資産の増により、前連結会計年度末に比べ14億９百万円の増加となりました。

この結果、総資産は1,024億62百万円で前連結会計年度末に比べ39億３百万円減少いたしました。

また、流動負債は200億36百万円で、主に支払手形及び買掛金やその他に含まれる設備電子記録債務の減により、前連結会計年度末に比べ30億86百万円減少いたしました。固定負債は169億86百万円で、前連結会計年度末並みとなりました。

この結果、負債は合計370億22百万円で、前連結会計年度末に比べ32億39百万円減少いたしました。

純資産は654億40百万円で、主に利益剰余金の減により前連結会計年度末に比べ６億64百万円減少いたしました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2026年２月10日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2026年10月26日）公表の「2026年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,318	10,468
売掛金	19,580	12,687
商品及び製品	4,630	6,185
仕掛品	618	755
原材料及び貯蔵品	4,676	6,242
その他	1,270	1,435
貸倒引当金	△175	△168
流動資産合計	42,920	37,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,372	16,261
機械装置及び運搬具（純額）	17,719	18,156
土地	7,598	8,175
リース資産（純額）	967	974
その他（純額）	3,803	2,934
有形固定資産合計	45,461	46,502
無形固定資産		
その他	1,540	1,590
無形固定資産合計	1,540	1,590
投資その他の資産		
投資有価証券	7,549	8,043
繰延税金資産	927	1,279
敷金及び保証金	1,985	1,994
退職給付に係る資産	1,322	1,356
その他	4,778	4,230
貸倒引当金	△120	△140
投資その他の資産合計	16,444	16,762
固定資産合計	63,446	64,855
資産合計	106,366	102,462

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,355	7,473
短期借入金	960	1,300
リース債務	204	226
未払金	3,993	3,566
返金負債	2,945	2,450
未払法人税等	914	177
賞与引当金	534	1,293
その他	5,216	3,548
流動負債合計	23,123	20,036
固定負債		
長期借入金	15,000	14,650
リース債務	629	626
繰延税金負債	336	389
退職給付に係る負債	292	461
役員退職慰労引当金	74	77
その他	804	781
固定負債合計	17,138	16,986
負債合計	40,261	37,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	33,598	32,578
自己株式	△17	△18
株主資本合計	55,920	54,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	545	458
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	2,241	2,576
退職給付に係る調整累計額	1,922	1,712
その他の包括利益累計額合計	4,713	4,747
非支配株主持分	5,470	5,791
純資産合計	66,104	65,440
負債純資産合計	106,366	102,462

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	83,968	87,659
売上原価	56,637	61,239
売上総利益	27,331	26,420
販売費及び一般管理費	26,262	26,533
営業利益又は営業損失(△)	1,069	△113
営業外収益		
受取利息	42	54
受取配当金	67	42
持分法による投資利益	758	478
補助金収入	―	455
その他	122	102
営業外収益合計	991	1,133
営業外費用		
支払利息	70	214
支払手数料	19	―
為替差損	37	―
その他	34	54
営業外費用合計	161	269
経常利益	1,898	750
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	12	―
関係会社株式売却益	282	―
特別利益合計	297	1
特別損失		
固定資産売却損	27	1
固定資産廃棄損	216	91
支払補償費	121	―
その他	42	―
特別損失合計	408	92
税金等調整前四半期純利益	1,787	659
法人税、住民税及び事業税	847	507
法人税等調整額	△230	△168
法人税等合計	616	338
四半期純利益	1,171	320
非支配株主に帰属する四半期純利益	263	263
親会社株主に帰属する四半期純利益	907	56

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	1,171	320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155	△11
為替換算調整勘定	△412	534
退職給付に係る調整額	△85	△209
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△64
その他の包括利益合計	△363	248
四半期包括利益	808	568
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	619	91
非支配株主に係る四半期包括利益	188	477

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	17,505	―	17,505	―	17,505	―	17,505
レストラン	4,698	―	4,698	―	4,698	―	4,698
菓子	―	55,988	55,988	―	55,988	―	55,988
飲料	―	3,058	3,058	―	3,058	―	3,058
その他	―	―	―	2,563	2,563	―	2,563
顧客との契約から生じる収益	22,203	59,046	81,250	2,563	83,814	―	83,814
その他の収益	―	―	―	154	154	―	154
外部顧客への売上高	22,203	59,046	81,250	2,717	83,968	―	83,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	227	228	343	571	△571	―
計	22,205	59,274	81,479	3,061	84,540	△571	83,968
セグメント損益(△は損失)	△1,477	5,721	4,244	447	4,692	△3,623	1,069

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

２　セグメント損益(△は損失)の調整額△3,623百万円には、その他の調整額５百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,628百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

３　セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	16,703	―	16,703	―	16,703	―	16,703
レストラン	4,527	―	4,527	―	4,527	―	4,527
菓子	―	59,288	59,288	―	59,288	―	59,288
飲料	―	4,426	4,426	―	4,426	―	4,426
その他	―	―	―	2,521	2,521	―	2,521
顧客との契約から生じる収益	21,230	63,715	84,945	2,521	87,467	―	87,467
その他の収益	―	―	―	191	191	―	191
外部顧客への売上高	21,230	63,715	84,945	2,713	87,659	―	87,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	232	233	335	568	△568	―
計	21,231	63,947	85,178	3,048	88,227	△568	87,659
セグメント損益(△は損失)	△1,299	4,423	3,124	456	3,580	△3,694	△113

(注)１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

２　セグメント損益(△は損失)の調整額△3,694百万円には、その他の調整額△６百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,687百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

３　セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

４　2025年７月に一部の子会社で「洋菓子事業」から「菓子事業」に業態変更を行っています。これに伴い、当該子会社で従来「洋菓子事業」に含めていた売上高、セグメント損益等は業態変更以降は「菓子事業」に含めています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	4,052百万円	4,925百万円